

『邦訳 日葡辞書』⑩

——わが国中世の児童文化史研究によせて——

M・M・M

R字で始まる語

(承前)

リコウジャ (利口者)

スルドナ クチノモノ (利な口の者) 物言いがはきはきし

ており、鋭敏で賢い人。

リユウニヨ (竜女)

ゼンチヨ (異教徒) が物語るところの竜の娘。

リユウニヨ (竜女)

海底を治めていると想像されている竜王の娘。

ラウボ (老母)

オイタ ハハ (老いた母) 年よった母。

ラウブ (老父)

オイタル チチ (老いたる父) 年よった父。

ラウニヤク (老若)

S字で始まる語

サカゴ (逆児)

さかさまに、すなわち、足から先に生まれる子供。

サカヤキ (月代)

頭の一部分で、こめかみと後頭部とを除いた部分。

(例) サカヤキヲ ソル (月代を剃る) 頭のこの部分、

すなわち、脳天と天辺の部分剃る。

(例) サカヤキヲ トルまたはヌク (月代を取る、また

は、抜く) 昔そりする習わしであったように、頭のこの

部分の髪の毛を引き抜く。

サガリバラノコ (下り腹の子)

私生児、すなわち、本妻でない妻の子。卑語。↓ラクイバ

ラ

サイヂョ (妻女)

結婚した女。

サイシ (妻子)

ツマ、コ (妻、子) 妻と子と。

サイシヨウ (妻妾)

ツマ ツマ (妻つま) 結婚している女。

サイユウ (再遊)

フタタビ アソブ (再び遊ぶ) 再び気晴らしをすること。

文書語。

サン (産)

ウム (産む) 出産。

(例) サンヲ タヤスウスル (産を輒うする) 安産する。

る。

(例) サンノ ヒモヲ トク (産の紐を解く) 産む。

サンドウ (山童)

ヤマワラワ (山童) 山住みの子供。

サンゴ (産後)

出産の後。

(例) サンゴ、サンゼン (産後、産前) 出産の後と前

と。

サンゼ (三世)

人が三度生まれ出る世 (過去、現在、未来)

サンゼン (産前)

出産の前。

サンナン (産難)

ナンザン (難産) に同じ。出産の大きな危険や難儀。

サンヤ (産屋)

ウマルル イエ (産まるる屋) お産をする家、あるいは、

子の生まれる家。一般にゴサンヤ (御産屋) と言い、貴人

について用いる。

サヲトメ (早乙女)

田に稲 (苗) を植える女。詩歌語。

サングスリ (差薬)

眼薬。また、九州方言では、未成熟の嬰兒を胎内からおろ

すための薬。

ソババラ (側腹)

(例) ソババラノ コ (側腹の子) もう一人の妻妾の生

んだ庶子。

ソクヂョ (息女)

ムスメ (娘) に同じ。娘。

ソクナン (息男)

ヲノコ (男) 男子。

ソダチ、ツ、ツタ (育ち、つ、つた)

扶養される、あるいは、成育する。

ソダチ (育ち)

成育。

ソダチユキ、ク、イタ (育ち行き、く、いた)

次第に成育していく、あるいは、扶養されていく。

ソン (孫)

すなわち、シソン (子孫)。子孫。

ソンジ (孫尼)

マゴ (孫) に同じ。小さな孫。文書語。

ソソワウ (孫王)

テイワウノ マゴ (帝王の孫)。国王の孫。

ソソゾン (孫々)

子孫。

(例) シシ ソソゾンニ イタルマデ (子々孫々に至る

まで) 末々の子孫まで。

ソウリヤウ (惣領)

長男。

(例) ソウリヤウソシ (惣領庶子) 長男とそれ以外の息

子と。

ソウリヤウゴ (惣領子)

長男。

ソウリヤウマゴ (惣領孫)

↓チャクソン

ソウリヤウシキ (惣領式)

世襲財産、あるいは、相続財産。

ソシ (庶子)

長男以後に生まれた子ども、すなわち、どの息子であれ長

男でない者。

ソソロウタ (漫歌)

子どもや働いている者が歌うように、別に意図もなく、意

識もしないで歌う歌謡。

スグロク (双六)

tabolas のような勝負事。

(例) スグロクヲ ウツ (双六を打つ) tabolas の遊び

をする。

\* tabola は、元来いろいろの勝負事に用いる駒の意。

スグロクバン (双六盤)

双六をする盤。

スグロクウチ (双六打)

双六を打つ人。また、時には、その上手な人を意味する。

スグロクズキ (双六好き)

双六の賭博師、または、双六を打つことの好きな人。

スマウトリグサ (天門冬)

すなわち、スマレ (堇) 堇の花。これは子供の言葉であ

る。